

研究名 「C 型慢性肝疾患に対する経口抗ウイルス薬治療後の肝癌発癌の検討」
(多施設共同研究)

2014年9月～2018年12月の間に当院にて経口抗ウイルス治療(ダクラタスビル+アスナプレビル、ソホスブビル+リバビリン、レジパスビル/ソホスブビル、エルバスビル+グラゾプレビル、グレカプレビル/ピブレンタスビル)治療を受けた患者のうち、同治療を導入して著効判定となったC型慢性肝疾患患者を対象としてその後の肝癌発癌状況を検討致します。診療録から個人を特定できない形式で検査成績、薬剤投与状況、治療後の発癌状況などの情報を用いた調査、研究です。診療情報の使用を希望されない方や、ご不明な点がございましたら、肝臓科(小林智夫)にご連絡下さい。